

### 第3回 グリーンLPガスの生産技術開発に向けた研究会 議事要旨

- 日時：2021年1月22日(金) 10:00~12:30
- 場所：日本LPガス協会 (ZOOMでのオンライン開催)
- 出席者：関根座長(早稲田大学教授)、橋爪委員(エネ庁)、坂西委員(産業技術総合研究所)他委員(9名)、オブザーバー他(10名)、事務局

#### 議事概要

(1) 以下の3名によるプレゼンテーションが行われた後、エネ庁石油流通課の橋爪企画官より、グリーンイノベーション基金事業に関する概要説明があった。

- ・「SOECメタネーションとC1~4成分併産への挑戦」 大阪ガス(株) 大西エグゼクティブリサーチャー  
→ SOFCの逆デバイスであるSOEC(固体酸化物形電解セル)により、既往技術(サバティエ反応)よりも少ない電力消費(従来比約2/3)で高収率にメタンを製造する技術の紹介。同社では産総研と共同で、NEDO事業の一環として技術課題に関する基礎研究中。
- ・「バイオマスからのDME等のクリーン燃料の製造技術に関する産総研の取組み」  
産業技術総合研究所 坂西領域長補佐  
→ 木質系バイオマスから得られた合成ガスをメタノールに置換し、脱水することによって製造されるDME技術を始め、次世代技術としてのバイオジェット燃料の生産技術開発状況の紹介等。
- ・「JFEエンジニアリングにおける廃棄物ガス化技術及びバイオマスプラント」  
JFEエンジニアリング(株) 岩崎首席理事、宮田アクアチームリーダー  
→ 下水処理施設や生ごみから得られた低分子有機物をバイオガス(メタン)化し、発電用燃料として用いる横浜市や長岡市等での実績紹介等。

(2) 今後の研究会活動等についての議論・検討(要約)

- ・ 政府グリーンイノベーション基金での2兆円ファンドに関しては、グリーンLPガスの製造技術開発の実証化/事業化に向けて具体的なターゲットを設定し、元売り各社等がコミットして行くうえでの課題等が議論された。
- ・ 次回は我が国における合成燃料技術開発の第一人者である藤元薫東大名誉教授、並びに古河電工による家畜糞尿由来バイオガスからのLPガス製造、大成建設による地産地消型グリーンLPガスによる町づくりをテーマとした講演を行う。

(3) 次回会合：2月26日(金)午前10時より